

③ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まで来た時、レバーハンドルの位置を【図2】の状態にし、本体部のネジ穴と上面施工ユニットの凹部を合わせて最後まで差し込みます。

●上から見た時の本体部の向き【図2】

正面
レバーハンドル
ワンタッチカプラが上面施工ユニットのネジ部の位置まで来た時、本体部の向きを正面に戻し、最後まで差し込む。

正面
ワンタッチカプラ
ネジ部
上面施工ユニット凹部
正面

●上から見た時の銅管の位置
フレキシブルホース
銅管(湯側)
銅管(湯水混合)
銅管(水側)
上面施工ユニット
正面

④セパレートユニット固定プラグで本体部を固定します。本体部に浮きがないよう注意してください。(微調整の際は、セパレートユニット固定プラグを少し緩め調整し、調整後は増し締めしてください)

セパレートユニット固定プラグ
上面施工ユニットに本体部をかざせた後、ネジ穴にセパレートユニット固定プラグを六角レンチ(4mm)で締め込んで、本体部を固定してください。

六角レンチ(4mm)
正面

※プラグは天板に本体部固定後、取りはずしてください。

⑤セパレートユニット固定プラグで本体部を固定した後、(本体部に浮きがないよう注意してください。)固定プラグ用キャップをハメ込み、本体下カバーを回して穴を背面に移動させてください。その後、フレキシブルホースを下に引き出してください。

固定プラグ用キャップ
本体部を固定した後、固定プラグ用キャップをハメ込んでください。

銅管ガイド
※本体部を固定した後、銅管ガイドを図のように止まるところまで下に引っ張ってください。

銅管ガイド
※銅管ガイドは、銅管から取りはずさないでください。

1-④ 止水栓にネジ式カプラを取り付ける

①ネジ式カプラのCリングをはずし、「ゆるむ」方へ回します。

黒ナット
ネジ式カプラ
Cリング

②止水栓にネジ式カプラを取り付けます。
※ネジ式カプラは平行ネジ(Gネジ)です。
※止水栓がテーパネジ(Rネジ)の場合は、テーパネジ(Rネジ)用アダプターを使用してください。

ネジ式カプラ
止水栓

ネジ式カプラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

パッキン

【要確認】
通常仕様・・・逆止弁あり
寒冷地仕様・・・逆止弁なし

逆止弁

③止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、十分にネジ式カプラが締め込まれているか確認してください。

注意 水漏れのおそれがあります
平行ネジにはシールテープを巻かないでください。止水栓にネジ式カプラを取り付けた際、十分にネジ式カプラが締め込まれているか確認してください。

1-⑤ 銅管(湯側・水側)を曲げてネジ式カプラとブレードホースを接合する

①銅管(湯側・水側)を取付面から60~70mmの位置で曲げます。

銅管(湯側・水側)の曲げ位置
取付面から60~70(推奨値)
25~35(参考値)

銅管を曲げる際の注意点
注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります
銅管を曲げる際は、銅管が固定具(金属部分)付近で折れ曲がらないように指を添えるなどして、ゆるやかに曲げてください。

固定具

20~30(参考値)
15°

②銅管(湯水混合)を正面からみて15°右に曲げます。

銅管(湯水混合)
銅管(湯水混合)の曲げ位置
取付面から90(推奨値)
20~30(参考値)
15°

1-⑦ 水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

1-⑧ 浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルを吐水状態にして手前・奥に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを止水状態にしてください。

レバーハンドル
手前(水)
奥(湯)

注意
吐水が飛び散らないよう注意してください。
フレキシブルホース先端の保護材をとりはずします。

1-⑨ 浄水器部を取り付ける

①浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。

グリップ
締め付けナット
浄水器部
フレキシブルホース

注意
浄水器部は斜めに取付けないでください。
浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。

②締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。

ミゾ
締め付けナット

③締め付けナットを固定して浄水器部のグリップを回転させて取り付けます。

締め付けナット

注意
フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因となります。

1-⑩ 水受けボックスを設置する場合(シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安)

注意
●水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具「みず工房」以外のものに取り付けしないでください。●水栓本体のスパウトホルダーから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。●フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないように、ホースストッパーの位置を調節してください。●変形するおそれがあります。40℃以上にならないような場所に設置してください。

フレキシブルホースのセッティングの仕方
通常仕様の場合
寒冷地仕様の場合
ホースストッパー位置

設置位置一覧表

	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)	ホースストッパー位置(B)
通常仕様	1100mm	340mm	400mm
寒冷地仕様	1100mm	360mm	440mm

① 水受けボックスの高さを調節します。

② 調節した位置でフレキシブルホースを抜き、ビス取り付け位置を図のようにペンなどでマーキングします。

③ マーキングした位置にドライバーでビスを取り付けます。ビスは水受けボックスの厚み分残して締め込んでください。

④ 水受けボックスの穴をビスに通します。

⑤ フレキシブルホースが水受けボックスの中に収まるように水受けボックスの高さを調節します。

⑥ 調節した位置でフレキシブルホースを抜き、ビス取り付け位置を図のようにペンなどでマーキングします。

⑦ マーキングした位置にドライバーでビスを取り付けます。ビスは水受けボックスの厚み分残して締め込んでください。

⑧ 水受けボックスの穴をビスに通します。

②ブレードホースを白い線までネジ式カプラに差し込みます。

白い線
ブレードホース
②
③
ネジ式カプラ
赤いシール

④Cリングをネジ式カプラの青色の溝にハマせます。

Cリング
Cリングタグ
Cリングタグは全施工完了後、取りはずしてください。

完成図
ブレードホースを白い線の位置まで差し込んでいます。
ネジ式カプラの青色の溝にCリングがはまっています。
赤いシールが見えない位置まで黒ナットが下がっている。

注意 水が出なくなるおそれがあります

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

①ブレードホースの折れに注意してください。ブレードホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあり、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、注意してください。

②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。

取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合、400mmタイプまたは580mmタイプのブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取付けてください。

1-⑥ フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

①フレキシブルホースをシンク下に引き出し銅管(湯水混合)に接続してください。

注意 漏水の原因となります
必ず【手順①】～【手順②】に従って、Cリングをワンタッチカプラに取り付けてください。

【手順①】
銅管
確認
ワンタッチカプラ

【手順②】
Cリング
確認
フレキシブルホース
フレキシブルホースを下に引っ張り確認する。

①銅管にワンタッチカプラをカチッと音がするまで確実に差し込んだ後、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。

②Cリングをワンタッチカプラに取り付けます。Cリングの取り付けは、必ずワンタッチカプラと銅管を接続した後に行ってください。先にCリングを取り付けたらワンタッチカプラを銅管へ接続した後、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。(接続が不完全な場合、漏水の原因となります)

寒冷地仕様の場合(逆止弁付き水抜き継手)

①フレキシブルホースに逆止弁付き水抜き継手を回して取り付ける。

逆止弁付き水抜き継手
※パッキン内蔵

②逆止弁付き水抜き継手にワンタッチカプラを取り付ける。
※パッキン内蔵

ワンタッチカプラ
※パッキン内蔵

③銅管にワンタッチカプラをカチッと音がするまで確実に差し込み引っ張ってはずれないことを確認する。

④Cリングを取り付け後、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認する。

5. フレキシブルホースの収納と水受けボックスの取りはずし方

【収納】
水受けボックスを下に引いて固定します。

【取りはずし】
左図のように水受けボックスを持ち上げ(1)手前に引いて(2)取りはずします。

1-⑪ ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースをはさみ込みます。

ホースストッパー位置は1-⑩の(シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安)を参照してください。

【取り付け上の注意】
浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。なお、水受けボックスをご使用の場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホースストッパーの位置を調節してください。

2. 取り付けが終わったら

2-① 引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

スパウトホルダーを左右に動かして浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに入れない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。

2-② 止水栓で適量の流量に

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

吐水状態
レバーハンドル
止水栓

2-③ 各接続部の水漏れがないかを確認する

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カプラおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。

2-④ 本体部がガタついていないかを確認する

施工完了後、本体部がガタつきがある場合は、固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ(4mm)でセパレートユニット固定プラグを増し締めしてください。増し締めした後、本体下カバーに固定プラグ用キャップをハメ込んで目隠しをしてください。その後、本体下カバーを回して隠してください。

六角レンチ(4mm)
固定プラグ用キャップ
本体下カバー
施工完了後、品質表示タグは本体に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
- 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて 破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは
タカギ・コミュニケーションセンター ミズズはよい水
通話料 0120-328-413 24時間電話受付(年中無休)

株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/